

令和5年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 産業振興部 農林水産振興課
電話番号 0835(25)2134

1 施設の概要

施設名称	防府市水産総合交流施設
設置目的	水産業の振興及び都市と漁村との交流の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、水産総合交流施設を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	山口県漁業協同組合
	代表者	代表理事組合長 森友 信
	所在地	山口県下関市大和町一丁目16番1号
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
選定方法		非公募
(非公募の理由)		水産総合交流施設の設置目的に沿った運営体制とするため
利用料金制の有無		有

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1)魚食及び水産物の普及及び情報の提供に関すること (2)水産物等の展示販売に関すること (3)地域の食材を活用した飲食物の提供に関すること (4)地域情報及び観光情報の提供に関すること (5)道路利用者の利便性の向上に関すること (6)防府市水産総合交流施設（以下「交流施設」という。）の使用の許可に関する業務 (7)交流施設の使用に係る料金に関する業務 (8)交流施設の維持管理に関する業務 (9)その他指定管理者が交流施設の管理上必要と認める業務					
組織体制	駅長 1人 指定管理部門 職員 4人 自主事業部門 職員 3人、パート6人（内直営店まこと勤務は1人、残りは加工事業兼務） 合計 14人（令和6年3月現在）					
労務環境	労働関係法令を遵守している。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①						
	目 標 値	700,000	700,000	750,000	750,000	800,000
	実 績 値	574,907	619,848	658,769	—	—
	分 析	コロナ禍明けもあり、各イベントで来場者を呼び込むことができ、前年度よりも約4万人増加させることができた。				
②						
	目 標 値					
	実 績 値					
	分 析					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指 定 管 理 料	20,248,762	20,263,000	20,263,000	—	—
利 用 料 金	26,743,521	29,551,094	31,581,316	—	—
そ の 他	7,935,290	9,849,557	11,310,999	—	—
収入計(a)	54,927,573	59,663,651	63,155,315	—	—
人 件 費	27,124,193	23,989,622	27,177,618	—	—
光 熱 水 費	12,940,026	19,384,938	18,295,073	—	—
修 繕 費	3,985,762	4,065,586	4,075,575	—	—
そ の 他	8,910,022	8,659,997	9,333,409	—	—
支出計(b)	52,960,003	56,100,143	58,881,675	—	—
収支(a-b)	1,967,570	3,563,508	4,273,640	—	—
分 析	昨年と同様に、光熱水費の支出額は高額であるが、来場者数の回復に伴う店舗全体の大幅な増収により、利用料金収入も増加して収益を確保することができた。				
②自主事業に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)	77,207,223	94,733,983	103,940,470	—	—
支出計(d)	69,503,890	88,289,331	96,489,516	—	—
収支(c-d)	7,703,333	6,444,652	7,450,954	—	—
主な内容	直営店（野菜・土産物等の販売）、水産加工事業（ハモの加工・販売）、新築地緑地管理委託事業収入、自販機販売手数料、氷販売収入				

5 利用者満足度

調 査 概 要	実施方法	アンケート用紙・回収箱設置のアンケート実施
	時期	通年
	回収率	0.006%（回答数38件／入場者数658,769）
	満足度の割合	74%
対応状況		『潮彩市場の午後3時以降はまったく人気がない。何か集客の工夫を』、『さかなまつりなどイベントを』などの意見については該当店舗のみならず、他の店舗や事務局にも情報を共有し、サービスの向上の指針とした。その他にも釣り大会などフィッシングパークの整備を伴うものも要望として見受けられるが、国、県、市を含めた今後の課題と考えている。商品に対しての満足度は全体的に高く、今後もこの品質を維持していけるよう運営に取り組んでいきたい。

6 評価

指定管理者による自己評価	新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類へ移行した5月以降、積極的に販促イベント等を実施したことで来場者数の増加に繋がり、魚食及び水産物の普及を推進することができた。それにより、施設全体として来場者数、売上額ともに過去最高水準となり、水産総合交流施設の賑わいの創出へとつながった。 しかし、集客・売上を伸ばしているテナントもあれば、経営状況が思わしくなく、集客・売上が大きく減少しているテナントもあるため、テナントへの経営指導・助言、思い切ったテナント入り替えなどの対策も講じて、更なる賑わい創出を図っていきたい。
市の評価	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各種イベントの開催により来場者数の回復に努め、水産物の普及を促進し、電気代の高騰や人件費の上昇等の影響を受けながらも売上額が令和4年度に続いて過去最高額となったことは評価したい。